

剣淵町
秦野市
足利市

映画が仲立ち深まる絆

栃木県足利市で映画「じんじん」に関わる3市町による初めての「じんじんサミット」が開かれた。

映画「じんじん」は、俳優の大地康雄さん企画・主演で剣淵町をメインロケ地として絵本を通じた親子の絆を描いたもので、2012年に宮城県松島町や足利市で撮影、翌年からスローシネマ方式で全国約千カ所で大映し、観客動員数は30万人を超えている。

続編となる「じんじん〜其の二」は神奈川県秦野市で昨年撮影、7月に剣淵町で先行上映会が開かれている。

2作目の公開を記念し、「じんじん」ロケ地の剣淵町と続編の秦野市、1作目のロケ地でもある足利市で映画を通じた地域の魅力発見やまちづくりについて意見を交わす「じんじんサミット」が開かれた。

足利公園内の白石山房で行われたじんじんサミットには早坂純夫剣淵町長、古谷義幸秦野市長、和泉聡足利市長、主演の大地康雄さんらが参加。

大地さんは「剣淵の絵本の館で見た読み聞かせから「じんじん」が生まれた。足利も重要なシーンのロケが行

「秦野を舞台に自然や林業にスポットを当てた続編が作られたことは本当にうれしい。映画を通じて剣淵町と足利市という友人になりたい」と述べた。

足利市の和泉市長は「よくあるふるさとPRのご当地映画ではなく、教育を感じる映画で、まちづくりと理念や哲学が似ている」と語っていた。

サミット終了後は公園内に秦野市から寄贈された「じんじんの木（やまぼうし）」を記念植樹し、映画を通じた友好の握手を交わしていた。

市内の映画館では「じんじん〜其の二」の特別上映会も行われ、足利市民や秦野市からのツアー参加者など満席の会場は拍手に包まれた。

3首長は人の優しさをテーマにした映画「じんじん」の理念を共有し、映画制作を通じて絆をさらに発展していきたいと同意していた。

続編の映画「じんじん〜其の二」は9月2日から全国公開が行われる。

17日に足利市で「じんじんサミット」開催

大地さん囲み3首長が集結

意見交換や記念植樹に友好の握手

われ、もし3作目が制作できるなら足利市を舞台にできたらと思っています」と3作目への思いを述べた。

秦野市の古谷市長は



「じんじんの木」を植樹する大地康雄さんと和泉市長（右端）、早坂町長、古谷市長（左端）